

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本ユース平和ネットワーク事業
事業主体 (連絡先)	松本市平和推進課 (松本市 総務部 平和推進課 0263-33-4770)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	559,448円 (うち支援金: 374,000円)

事業内容

- 松本市内の大学生23名が参加し、平和学習と平和発信活動を実施
- 平和を学習する・知識を付ける事業
  - ・平和学習 (松本市内戦争遺跡フィールドワーク等)
  - ・長崎市平和訪問事業
  - ・留学生との意見交換会
- 平和を発信する・成果を発表する事業
  - ・「平和都市宣言の日」での長崎市平和訪問報告会
  - ・小中学生出前授業
  - ・平和ハンドブックの発行



【長崎市平和訪問の様】

【目標・ねらい】

- ①若者が平和を考える機会を作る
- ②若者主体の平和発信活動を行う

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 市内戦争遺跡フィールドワークや参考図書での学習に加え、被爆地長崎を訪れるなど、平和についての学習する機会を設けることで、若者世代が平和について考えるきっかけとすることができた。
- 上記平和学習の成果を活かし、小中学生への出前授業 (約500名が参加) や平和ハンドブックの発行 (1,000部) などを行い、若者が主体となって平和を発信することができた。これにより、地域全体の平和意識高揚につながることができた。

※自己評価【B】

【理由】

- 当初のねらいどおり、大学生世代を中心とした若者たちが平和推進活動に携わることで、地域の平和意識高揚につながったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 社会人を含めた新規メンバーを募集し、さらにネットワークを拡大する。
- ネットワークの拡大により、さらなる地域の平和意識高揚を図る。
- メンバーからの情報発信の手段として、SNSの活用を検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある